



和こだより

弟子屈町立和琴小学校

令和8年1月30日 発行者 校長 工藤 博之

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



■2月の行事 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	日	週休日		×
2	月	5時間授業	14:00	○
3	火	冬期避難訓練 ALT	14:00 14:55	○
4	水	全校集会	14:00	○
5	木	4時間授業	12:45	○
6	金	冬のふるさと体験学習・給食試食会・PTA親子レクALT	15:15	○
7	土	週休日		×
8	日	週休日		×
9	月	新一年生一日体験入学 4時間授業	12:40	○
10	火	5時間授業 ALT 定時退勤日	14:00	○
11	水	建国記念の日		×
12	木	図書館バス	14:00 14:55	○
13	金	冬のふるさと体験学習・PTA親子レク予備日 児童委員会	14:00 15:15	○
14	土	週休日		×
15	日	週休日		×
16	月	高学年思春期保健講座 5時間授業	14:00	○
17	火	ALT	14:00 14:55	○
18	水	読み聞かせ	14:00	○
19	木		14:00 14:55	○
20	金	ALT 学校運営協議会 定時退勤日	14:00 14:55	○
21	土	週休日		×
22	日	週休日		×
23	月	天皇誕生日		×
24	火	ALT	14:00 14:55	○
25	水	児童会役員選挙	14:00	○
26	木	図書館バス 6送会実行委員会	14:00 14:55	○
27	金	参観日・学級懇談 ALT	14:00	○
28	土	週休日		×

2月27日(金) 12:50～13:50に、中高学年の「総合的な学習の時間」発表会を行います。地域活性化プランを考えました。地域の皆様もぜひご参観下さい。

『うま(午)』くいく 1年になりますように

校長 工藤 博之

年が明け、令和8(2026)年、午年が始まり、1ヶ月が経過しました。改めまして、今年も引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校は、1月15日の始業式を迎え、子どもたちの笑顔と元気で賑やかな声が戻り冬休み中寒かった校舎も一気に暖かくなった感じがします。始業式では、「午年は、活発で前向きな年、物事がスムーズに進みやすく努力が形になりやすい年と言われています。努力や挑戦したことが実を結びやすい午年に皆さんはどんな努力や挑戦するか考えて、自分の目標を立ててください。3学期は46日間です。楽しいことが多いので、すぐに過ぎて短い期間なので、やり残したことがないように毎日を楽しんでほしいです。先生方はみんなが何事も『うま』くいく1年になるよう支えていきます。安心して学校生活を過ごしてください。」と、話しました。学校に安心して通学し、進級・進学を意識した3学期になることを期待しています。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果については裏面に「教職員・保護者・児童」三者の結果を前回と比較できるように掲載されていますのでご覧ください。保護者の回答から、今年学校が『子どもの可能性を引き出し、伸ばす教育の充実』をめあてとして教育活動を行っていることについて、理解していただき評価されていることを感じ得ます。直接見ることができない日常の学校のことで、児童との対話や様子、お便り等を通して知り得たり、担任(学校)との会話や成長を見て頂いているからこそこの貴重な評価と受け止めております。今後も家庭・地域と学校が連携した教育活動を推進して参ります。本校は、アンケートの機会に限らず日頃から保護者の方からのご意見をお伺いしておりますので、是非お寄せください。

結びになりますが、子どもたちが、心身共に大きく成長できるように教職員一同努めて参ります。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

■ご協力ありがとうございました ～2学期末保護者アンケート結果～

2学期末にお願いした「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせします。(A 4点 B 3点 C 2点 D 1点)

学校評価アンケート三者比較

			今回	前回比	
1	授業改善	教職員	学校は、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っている。	3.40	0.00
		保護者	学校は、お子さんに応じた多様な授業や、他の子と学び合うような授業を行っている。	3.80	-0.03
		児童	授業で友だちと話し合う学習で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	3.42	0.00
2	授業改善	教職員	学校は、子どもが学習活動を振り返り、自らの学びの変容を自覚し、次につなげることができる教育活動を行っている。	3.40	0.20
		保護者	学校は、お子さんの学力向上のために、やる気を育てる授業、分かるようになる授業、できるようになる授業を行っている。	3.70	0.12
		児童	授業では、課題を立て、まとめたり、ふり返ったりする学習をしている。	3.83	-0.08
3	授業改善	教職員	学校は、自己存在感の感受を推進する授業づくりを行っている。	3.40	-0.20
		保護者	学校はお子さんの自己肯定感や自己有用感を育むような教育を行っている。	3.70	0.20
		児童	自分には、よいところがある。	3.42	-0.33
4	授業改善	教職員	学校は、共感的な人間関係を育成する授業づくりを行っている。	3.80	0.20
		保護者	学校は、お子さんが失敗をおそれないで、安心して間違えることができるような学習集団づくりを行っている。	3.70	0.03
		児童	みんなの前で安心して、発表したり意見を言ったりできる。	3.67	0.25
5	授業改善	教職員	学校は、自己決定の場を提供する授業づくりを行っている。	3.40	0.00
		保護者	学校は、お子さんが自ら考え、選択し、決定する力が育つような教育を行っている。	3.90	0.40
		児童	友達の考えを参考に、自分のことは自分で決めることができる。	3.67	0.17
6	道徳教育	教職員	学校は、子どもの互いに認め合う気持ちと支え合う心を育てている。	3.40	-0.60
		保護者	学校は、子どもの互いに認め合う気持ちと支え合う心が育つような道徳教育を行っている。	3.90	0.15
		児童	自分の考えや、やり方と違って、その友だちのよさを認めたり、おりに合わせていっしょに活動したりすることができる。	3.83	0.17
7	体力向上	教職員	学校は、子ども個々に合わせた運動課題を設定し、その課題に応じた体力作りを行っている。	3.60	0.20
		保護者	学校は、お子さんの発達段階を考慮しながら、お子さんが運動を好きになったり、体力を向上させたりすることにつながる教育を行っている。	3.70	0.03
		児童	自分の苦手な運動に進んで取り組んでいる。	3.33	-0.42
8	ふるさと教育	教職員	学校は、ふるさとのよさを知り、自己の生き方を考える教育の充実を図っている。	3.80	0.00
		保護者	学校は、家庭・地域と協力しながら、ふるさとの自然・人・産業に関わる総合的・体験的な教育を行っている。	3.80	-0.03
		児童	授業などで地域のことを調べたり、地域の人に会ったり、話を聞いたりすることは、楽しみである。	3.75	-0.17
9	G I G A	教職員	学校は、公正に個別最適化され、子どもの資質・能力を一層確実に育成するICTを活用した教育の推進を図っている。	3.40	0.00
		保護者	学校は、公正に個別最適化され、お子さんのよさや個性を一層確実に育むため、ICT（タブレットなどの情報通信技術）を活用した教育を行っている。	3.70	0.03
		児童	目的に応じて様々なソフトを活用し、調べ学習や意見の発表、交流ができる。	3.83	0.75
10	いじめ	教職員	学校は、いじめ・不登校問題に対し、未然防止、早期解決に向けた組織的な取組を行っている。	3.80	0.20
		保護者	学校は、「いじめは絶対に許されない」という考え方で、いじめが起これにくい環境づくりを行い、いじめの未然防止・早期解決に向けた取組を行っている。	3.80	0.13
		児童	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	4.00	0.00
11	家庭・地域連携	教職員	学校は、学校・地域・家庭が目的意識を共有し、それぞれの役割を果たしながら一体となって行う教育の充実を図っている。	3.60	-0.20
		保護者	学校は、家庭への情報発信や家庭との連携を十分行っている。	3.70	0.03
		児童			
12	へき地教育	教職員	学校は、へき地・小規模・複式の三特性を生かし、子ども一人一人の能力や個性を伸長する教育の充実を図っている。	3.80	0.00
		保護者	学校は、お子さんのよさや個性を生かし、子ども同士がお互いを尊重し合う教育を行っている。	3.70	-0.13
		児童			

○自由記述より

・少ない人数であることのマイナス点を、プラスに変える、工夫された教育活動をたくさんしていただけたと感じています。特に音楽や体育など、4学年分の教材研究や発達段階を考慮して進めることは、先生方にとってかなり大変なことだったと思います。が、1人学年の子たちにとって、本当に学びの多い時間になったと思います。ありがとうございます
・いつもいてねいご指導ありがとうございます

○分析と考察

今回も温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。今年度1回目と比較するとわずかに減少した項目が見られますが、すべての項目で平均3.7以上であり、学校の取組について肯定的に受け止めていただけており、家庭と学校が連携して教育活動を行うことができていると考えています。3学期は、次の3点を中心に取り組み、教育活動のさらなる充実を図っていきます。

①項目1 多様な授業、学び合う授業
学年在籍児童が1名の学年もありますが、児童の実態に合わせた授業を展開していきます。また、教師や他校児童との交流を通して学びを深められるよう図っていきます。

②項目8 ふるさと教育
2月に行われる「総合的な学習の時間」の発表会に向けて、地域コーディネーターとも連携し、内容の充実させ、深化を図ります。また、クロスカントリースキーやスケートのウィンタースポーツに親しむことを通して、ふるさとの良さを実感できるようにしていきます。

③項目12 よさや個性を生かし、子ども同士がお互いを尊重し合う教育
児童会活動や学校行事、当番活動や休み時間等の異学年の児童と一緒に活動する場面を大切に、上級生・下級生・同級生のいずれの関係においても相互理解が深まるよう教育活動を充実させていきます。